

高山植物

A. E

私は1日目、磐梯火山探検コースでした。インターネットや本からは想像できないくらいにのけわしい道が続き、下を見て歩くことができない所だったのでびっくりしました。こんな道を通ったのは初めてでした。男子は、先に歩いて行ってしまったけど、私は普通には歩けませんでした。同じコースの女子も同じで、けがをしないようにするのが精一杯でした。岩がゴツゴツしていて、すべりやすくて、周りを見る余裕がなく歩いてしまい、ついた時には、「やっとなつたー」と本当に思いました。ほっとしました。「雨だったので、景色があまりよくないな、晴れていればいい景色を見ることができたのに…」と思いつつ景色を見ていました。

佐藤先生が話してくれたこと

1888年7月15日午前7時頃、軽い地震が発生し、どんどん揺れが強くなり7時45分頃に小磐梯山で噴火が始まったそうです。水蒸気爆発が15～20回も起こり、最後の爆発は北に横向きに発生したため、小磐梯山が崩壊して、それで岩屑なだれが現在の北塩原村と猪苗代町の一部をのみこんで、477人が命をうばわれてしまいました。最初の爆発から小磐梯山の破壊までの時間がすごく短かったそうです。最後の爆発は下まで届き、渋谷村では多数の木々や家屋が破壊されました。

火山灰は10センチの厚さで約100キロ離れた所ではうっすらと積もりました。15日の7時頃から大地震となり10分ばかりたって中の湯の上の方、ふつう湯気の出ている所から、大砲3挺ほどが一度に発射されたほどの大きな音が聞こえ、黒い煙が上がり空をおおいました。そうしたら山くずれが起きて石が空から落ちてきました。1時間ほどしたら、石が落ちてくることがおさまったが、すぐに2、3回はれつが起こりました。

二階堂先生から聞いたこと

2日目は高山植物を調べるコースでした。先生に雲の上のコースだと言われました。「雲の上？」と考えていたら全然想像できなかったけれど、不思議な感じでした。だって雨雲の上だから雨が降らないのです。すごかった。

そこには今まで私が見たことがない植物がありました。高山植物は300種類あることがわかりました。

変わった名前の植物は、**ヘクソカズラ**で学校のプールの近くで育っていることが多いそうです。チョウチョがこれを食べる理由は、幼虫と自分がカラスから身を守るため。硫黄

の結晶は、黄色だが火山の所になると硫黄は緑色に見えました。火山の所の草はだいたいイネ科で、浄土平は高山帯で裏磐梯は山地帯の2種類あります。高山植物は、寒い、高い、厳しいというところで生きています。低くても厳しい所にある植物も高山植物と言います。高山植物は300メートルでもはえるし、1000メートルでもはえるのです。1600メートルという厳しい状態ですはえます。

普通の高山植物は250メートルからはえるのに、低い所からはえてきます。二階堂先生に「生活に使っている、もしくは使える植物は、なにかありますか?」と聞くと、いろいろと教えてくれました。



まず、食べ物でいうと、**コバギボウシ**です。
コバギボウシは山菜。

ゴマナは、おひたしにするとおいしいそうです。



コケモモ

コケモモは、高級ジャムになるそうです。

ナナカマド

ナナカマドは、7日間燃やすといい炭になるそうです。





ベニバナチヤクソウ

ベニバナチヤクソウは、胃腸薬です。

イワオトギリ

イワオトギリは傷薬で、飲んだら危険です。



シラタマノキ

シラタマノキは、「つぶしてごらん」と言われて、つぶしたらシップの匂いでした。これは、オキシドールなどに使われているそうです。

ほかにもいっぱい色々教えてもらいましたが、似ている物もあるし、色がちがう物もあるし、名前が難しいし、

かわっている物もあるので私は、覚えることができません。

よく似ている植物として、

エドリンドウ



エドオヤマリンドウ



ほかには、**ハクサンシャクナゲ**



ネモトシャクナゲ



などがあります。とてもよく似ています。

高山植物はきれいで変わった植物なので、まれに家に持って帰ってしまうお客さんなどがあるようですが、変わった植物だからといって家に持って帰ると、慣れていない気候なのですぐに枯れてしまうそうです。

私は「高山植物がきれいだから持って帰る」ということをしている人が信じられないと思いました。だって、そういうことをしている人は、自然を破壊しているということですから。私は、そういうのは、ありえないと思いました。

私が思ったこと

私は、火山が原因で人の命477人分が一瞬にして消えてしまうことは、すごく残酷で、すごく悲しく、痛々しいものだと思います。火山も地震も一瞬だからすごく怖いと思いました。